

〔茶豆風味エダマメにおける作型毎の高品質化技術の確立〕
早期移植における摘心位置の違いが茶豆風味エダマメの草姿と収量に及ぼす影響

榮森弘己・小坂井宏輔
(江戸川分場)

【要 約】「湯あがり娘，陽恵」とともに5節での摘心処理は，無処理と比べて草丈を低く抑えながら，無処理とほぼ同等の収量が維持することができる。

【目 的】

昨年度エダマメのセル成形苗による移植栽培において，初生葉出芽期に移植した株の7節目を摘心することにより，収量を維持したまま草勢をある程度抑制できることを明らかにした。そこで今年度は摘心位置の違いが草姿および収量に及ぼす影響を明らかにするため，本試験を行った。

【方 法】

「湯あがり娘，陽恵」の2品種を供試した。2025年5月13日にセルトレイに播種，「湯あがり娘」は5月21日に，「陽恵」は5月23日，26日にそれぞれ初生葉出芽期の苗を，白黒ダブルマルチ敷設の露地に定植した。栽植密度は畝間75cm，株間15cm，条間35cmの千鳥2条植えとした。施肥量は基肥N-P₂O₅-K₂O=5-13-8kg/10aとした。定植直後1mm目合い防虫ネットで6月27日までトンネル被覆を行った。摘心は各区節数が生育に達した時点で，節から上部を摘心した。試験区は1節目で摘心（以下，1節区），3節目で摘心（以下，3節区），5節目で摘心（以下，5節区），7節目で摘心（以下，7節区），無処理の5区とし，1区10株×4反復とした。収穫調査は7月28日～8月4日に行った。

【成果の概要】

1. 気象条件：定植直後の5月下旬～6月上旬は平年に比べ気温は低かったが，6月中旬以降は平年に比べ高い傾向で推移した（表1）。日照時間も気温同様の傾向で推移した。また降水量は5月下旬以外は平年に比べ少ない傾向で推移した。
2. 草姿：「湯あがり娘」は，3，5節区で草丈が51～53cmと無処理区より20cm以上低くなった（表2）。また1，3，5節区で茎長，節数および分枝数が無処理区より低い数値となった。「陽恵」は，1，3，5節区で草丈が44～49cmと無処理区より9cm以上低くなり，茎長，節数および分枝数も無処理区より低い数値となった（表3）。
3. 収量：「湯あがり娘」の可販収量は，無処理区の78kg/aと比べて1節区は71kg/aと少ない傾向であったが，それ以外は78～85kg/aと同等または多くなる傾向にあった。莢数については，7節区以外は少ない傾向にあった（表2，図1）。「陽恵」は，可販収量と莢数ともに無処理区と比べて5節区と7節区が若干多い傾向にあった（表3，図1）。
4. 以上の結果，供試2品種ともに5節目で摘心することにより，無処理よりも草丈などを低く抑えられ，かつ無処理とほぼ同等かそれ以上の収量を確保できることが明らかとなった。

【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 品種により草姿や収量は異なることがあるので，留意する。

表1 栽培期間中の気温、日照時間、降水量の推移

		平均気温(°C)						日照時間(hr)		降水量(mm)	
		日平均		日最高		日最低					
		本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
5月	下旬	18.5	-2.2	21.8	-2.8	16.1	-1.2	28	38	60	161
6月	上旬	21.1	-0.4	24.5	-0.9	18.6	+0.2	52	84	31	55
	中旬	24.8	+2.7	28.5	+2.9	22.3	+3.0	70	133	18	34
	下旬	26.5	+3.0	29.9	+3.0	24.3	+3.3	80	175	32	70
7月	上旬	28.3	+3.6	32.1	+4.5	25.7	+3.1	91	192	8	10
	中旬	26.3	+0.2	29.4	+0.1	24.3	+0.7	51	83	48	80
	下旬	28.6	+1.3	32.1	+1.4	26.4	+1.6	129	159	0	0
8月	上旬	28.9	+0.6	32.4	+0.5	26.4	+0.6	68	81	37	126

気象庁（江戸川臨海地点）のデータ使用。平年値は2015～2024年の10年間の平均値を使用した。

表2 摘心位置の違いが「湯あがり娘」の草姿、収量に及ぼす影響

試験区	摘心日	収穫日	草丈 (cm)	茎長 (cm)	節数 (節)	分枝数 (本)	可販収量 ^a (kg/a)
無処理	—	7/28	76 -	30 -	8 -	9 -	78 -
1節	6/4	7/28	66 ns	24 *	6 **	7 **	71
3節	6/8	7/28	53 **	18 **	5 **	7 **	81
5節	6/12	7/28	51 **	16 **	5 **	7 **	78 ns
7節	6/18	7/28	70 ns	25 ns	7 ns	9 ns	85

注) 無処理区を対照としたDunnett検定を行った結果, **: 1%水準で有意差あり, *: 5%水準で有意差あり, ns: 有意差なし。
a) 2粒莢以上の莢収量を示す。栽植密度は1aあたり960本で計算している。

表3 摘心位置の違いが「陽恵」の草姿、収量に及ぼす影響

試験区	摘心日	収穫日	草丈 (cm)	茎長 (cm)	節数 (節)	分枝数 (本)	可販収量 ^a (kg/a)
無処理	—	8/4	58 -	19 -	8 -	10 -	130 -
1節	6/8	8/4	45 **	12 **	4 **	7 **	127
3節	6/12	8/4	44 **	12 **	4 **	7 **	121
5節	6/13	8/4	49 *	15 *	6 **	8 **	138 ns
7節	6/23	8/4	60 ns	21 ns	8 ns	10 ns	136

注) 無処理区を対照としたDunnett検定を行った結果, **: 1%水準で有意差あり, *: 5%水準で有意差あり, ns: 有意差なし。a) 2粒莢以上の莢収量を示す。栽植密度は1aあたり960本で計算している。

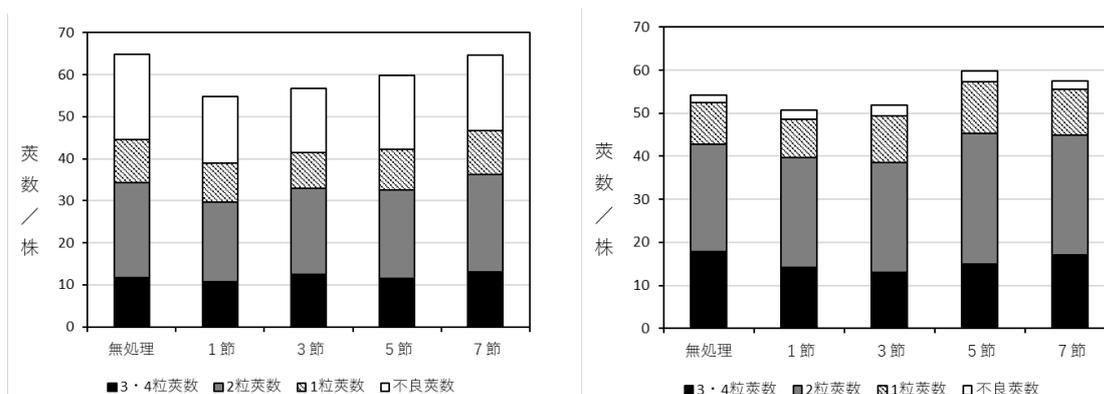


図1 摘心位置の違いが莢数に及ぼす影響（左：「湯あがり娘」、右：「陽恵」）